

決 裁	議 長	局 長 等	次 長	リ-ダー	担 当	合	議
							

令和7年11月4日

養父市議会議長 様

議員氏名 井戸 弘美

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活動月日 令和7年10月20日（月）～令和7年10月21日（火）
- 2 活動場所 全国市町村国際文化研究所
- 3 活動目的 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」「2日間コース」
- 4 活動内容 研修・ディスカッション

5 活動成果

地方議会の展望という題材で北川教授（早稲田大学名誉教授）の講義を受けた。まだまだ、地方に行くほど、中央集権の思い込みがすごい。だが、1995年の時からすでに、地方分権推進法の法律が出来ている。市区町村は、30-40%あった国からの機関委任事務が全廃されている。対等協力の時代だ。議会基本条例の制定をすべき。

議会の役割を体系的、構造的に作り直すためにここの政策条例制定をしなければならない。定数削減、報酬削減、政務活動費削減は改革とは言えない。量的削減から質的充実へしなければいけない。



一番理解しやすかったのは、早稲田大学デモクラシー創造研究所の中村健先生の話し方だった。分からない人にもわかりやすく、また、声も、ちゃんと、聞き取りやすかった。まずは、地方自治を勉強しなさいとのことだった。

住民と対話（聴く）⇒研究する（議会間で対話、行政と対話）⇒解決策を講じる⇒住民と共有⇒最初に戻る

議会は住民の代わりに話し合い、決める。

色々な地域の改革案が出ていた。広報に関してのことも、色々な場所で、やり方は全く違った。奈良の王寺町の広報の作り方がすごくて、一度視察に行きたいくらいのまとめ方。まずは、メディアデザインユニバーサルアドバイザーの資格を取るの、良いということだった。

また、加賀市の議会での取り組みも、出来るだけ新しい取り組みをしており、時代が変わっている今、議会も、どんどん進化しなければいけないという、時代に来ている事。今後の、養父市にも、落とし込んでいくことが出来るのではないかと思う。

ただ、現状になれている場合は、新しいものについていくことが出来ないかもしれないのが、課題かもしれない。

これから、どんどん、新しい議員が入ってきて平均年齢が若返ったとき、きっと、ガラッと変わった議会が見えるだろう。

後の、三年後の議会を遠目で見ることが楽しみになってきました。

沢山、勉強させて頂き本当に、微々たるものですが、アウトプットすることが出来ればこの3年の間に、しっかり、アウトプットしていきたいと思いました。